

# 彼方「かなた」

校長通信  
H30.12.17  
Vol.26

## 【期末保護者会で伝えたかったこと】

「あなたのいいところは何かですか？」「あなたが中学校生活で一番頑張ったことは何かですか？」「あなたのクラスはどんな学級ですか？」「白山中はあなたにとってどんな学校でしたか？」「あなたの担任の先生はどんな先生ですか？」先週で三年生との面接がほぼ終了しました。その中で聞いた代表的な質問です。緊張しながらもみんな一生懸命答えてくれました。

「二四時間以内にあつたよかったこと、新しく発見したことを話してください。」こういう質問もしてみました。「とても些細なことですが、いいですか。ここのところ雨の日が多かったのですが、昨日、曇り空の間から日差しが差し込んでくる瞬間が見られました。すごくウキウキしました。」こう答えてくれた女子生徒がいました。とても素敵な受け答えでした。私が高校の面接官ならすぐに合格です。



学校は、本来こういった感性を磨くところであり、仲間の良さや自分の良さを実感することができる場所ではないかと思っております。相手を揶揄したり、傷つけたり、落とし込んだり、責めたり、悪い噂をながしたり、大人社会



の縮図のような場面に出くわすことも少なくありません。でも白山中学校は本当に素敵な学校です。よく知らず。それは生徒だけでなく先生方や保護者の皆さんも含めてです。

四月に掲げた学校教育目標『みがき合い・支え合う、心豊かでたくましい生徒をめざす！』覚えていただけましたでしょうか？「みがき合う」、「支え合う」という最初の二つは、決して受け身ではない、自ら考え、互いに助け合うということであり、後半の二つは、相手の気持ちを考え、自分や仲間を大切にできる「心豊か」で、どんな困難にもしっかりと向き合い、解決しようとする「たくましい」人であれという願いです。本当にこの姿に向かつて近づいているのを三年生の面接から感じ取ることができました。

「挨拶がとてもよくなりました。」「生徒の手で作り上げた体育祭がとても好きです。」「みんなで朝練習までやって頑張った合唱コンクールが本当に楽しかったです。」「負けてしまいましたでしたが、最後まで全力で仲間と部活動に励むことができたのが心に残っています。」「今までわからなくてもそのままにしていたのですが、アクティブラーニングで学ぶようになってからわかるようになりました。」「学校の授業が変わってきたのを実感できるようになりました。」「本当に楽しい学級です。」「白山中で

先生や仲間と学べたことが自分の誇りです」「委員会を取り組んだことが全校に広がってきたのが嬉しいです。」「うるさいけどみんな元気で仲がよく、いいのがない学級になっていくのが嬉しいです。」「休んでいた人が笑顔になって一緒に生活できるようになりました。」「学校に来るのが楽しいです。白山中で本当によかったと思っています。」「楽しかったことやがんばったこと、人に胸を張って言えることが、次から次へと出てきます。一、二年生もそれに感化されながら元気に学校づくりに参加している姿が見られます。生徒の学校での生活が、学校教育目標や校歌の歌詞そのままに表現されているように思います。先生方もアクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）を意識しながら新しい学習指導要領の完全実施に向けて授業改善を図っています。おやじの会で「震災体験キャンプ」を立ち上げたり、



「学習ボランティア」を組織したり、様々な面で保護者や地域の皆さんに支えていただきました。今学期の白山中を漢字一文字で表すと、「実」です。本当に実り多き学期となつたと思います。来学期も頑張ります！

